

日八十月 磐城時報

部會で一名擁立

石城民政部會の選挙対策

役員はいつれも再選重任

昨報一昨日の民政黨石城部會に幹部一件を決議した。於ける役員改選の結果は左記諸氏當選しつれも再選重任である。

省營バス運轉

植田町陳情

常磐線植田町から水郡線石川町に通る省營バス運轉問題に關し、遊説部長吉田寅之輔、情に於ける陳情は、植田町長古川傳一氏は植田町成同盟會員數名と共に十五日東京、御所前を経て入道野根岸線から植田町に運轉するやう鐵道省に請願して引揚げたが、大體本年度中に實現される見込が、植田町と湯本町の争奪第一を擁立すること。選衝は戦は各方面から注目されてゐる。

躍進の四倉漁業界

漁獲高五十八萬圓

大漁景氣を示した昨年成績

漁港完成に町民期待

四倉町漁業組合に於ける昨十年なほ同演ではこの揚網の成功度中の總漁獲高は五十七萬八千に鑑みて今春より揚網船三隻余圓と此程發表されたが、そのを増加すべく準備を進めてをり大半は春、秋兩期に於ける揚網今後漁港の完成と、もにます。網漁で、秋職揚網漁は實に六萬圓を突破し近年にない豐漁。現在の網大漁景氣と相俟つて船主、製造家その他一般中小商業家、花柳界いづれも好況にホク々である。

水源補強工事

湯本・磐城から寄附平町三萬町民の生命線平町上水道水源池である好間村好間川環

提は昨年十一月廿七日の豪雨により缺損流失したに、め町では爾來應急工事を施したたが、工費一千七百圓を以つて萬全の工事をなすことになつたが、現在平町から水を分讓してゐる湯本町、磐城炭礦の兩者にも應分の寄附を求むべく廿一日水道委員が出張交渉を進めることになつた。

剣道講習會開く

階級試験も行ふ

武徳會福島支部主催の剣道講習會を廿四日から三日間平野演武場で開催、支部から教士小川文章氏出席その他講師は範士鈴木忠正五段外平分會幹部、廿六日午後から階級試験を行ふが一段の参加歓迎してゐる。

小名濱の晝火事

炬燵の不始末から一戸全焼

小名濱町下明神町築港工事潜水ミ(二〇)兩名は舊臘廿三日湯本夫婦(四一)方二階から十八町宇吹谷旅人宿若松久一方に伊藤久男(二三)妻トヨ(二〇)と許不稱投宿翌二十四日午後宿料及飲食代四圓九十錢を踏み倒して逃走。平署で捜査中十七日檢査された。

植田署管内

消防幹部會

植田署管内 植田署管内消防幹部會を三月廿一日植田町菊多座で開催、小頭以上百廿名出席することに決定。

中間停留場を

九ヶ所に設置せよ

いよ、三月一日から實轉實施と決定した地方待望の湯本一久の濱間に平一川小川間ガソリンカーの中間停留場に關し廿一日午前十時から平町會議事堂に關係町村の湯本、内郷、平、草野、太浦、四倉、神谷、久ノ濱、好間、赤井、十ヶ町村長が會合協議するが、中間停留場大は左記九ヶ所に決定するやう陳情する管で各町とも合計十七ヶ所の停留場となるわけで地方民によつては頗る便宜が多いわけである。

總被害八萬五千圓

平署昨年度の犯罪調べ

仙臺署を凌駕して断然東北一の「犯罪都市」を誇つた平署の昨年度犯罪件数は發生三千五百八十五件、檢査三千七百廿一件(人員一千三百卅三名)でこの被害額は八萬五千六圓、うち發見還付されたものは僅に五千二百卅一件。

和久井屋 漆器と家具は

石炭 豆炭 阿部石炭店

インチキ銘酒發見 平稅務署で嚴重處罰 平稅務署内の某村某酒造家が有飲料法違反で嚴重處罰する方サツカリソールアルコールを用ひ針である。なほ同署では昨年度で不良酒を造つて販賣してゐる某村に起つた酒類大密造事件發見を突とめ十七日朝來現品を覺以來久しぶりの違反である。

酔つて失敗 坑夫飛び乗り禍 磐崎村第二磐城炭礦長倉坑工事人夫宮城縣野郡生れ高橋太一(三〇)は昨十七日朝八時ころ泥酔しての歸途同村上湯長谷地内坂路で後方から疾走して來た同坑抱運轉手佐々木徳吉(二五)運轉するトラックに飛び乗らんとして及ばず後車部に激突肋骨三枚を折り村近病院で加療中であつたが中々の重態。

和久井屋 電話四〇五番

